

# 飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

## (平成27年度事業)

### <目 次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	21
5 教育委員会の活動状況と評価	23
6 評価会での学識経験者の意見等	26
7 おわりに	27
※ 資料（各所属の評価結果）	28

平成28年8月19日  
飯能市教育委員会

## 1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成27年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

## 2 点検評価の基本方針

### （1）目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

### （2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受け教育委員会では、平成28年7月29日に「飯能市教育行政の重点施策の評価会」を開催し、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

## ＜飯能市教育行政の重点施策の評価会＞

開催日：平成28年7月29日（金）

開催場所：富士見地区行政センター 第1会議室

出席学識経験者：駿河台大学

　　経済経営学部教授　　高垣 行男 氏

　　経済経営学部教授　　増田 珠子 氏

### 3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成27年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成27年度の事業名と結果を表記しました。

### ＜平成27年度飯能市教育行政の重点施策＞

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

目標 「飯能を愛し、夢や希望をもち明るく元気に学び実践する人づくり」

合言葉 「共育」 一自主・責任・連携一

基本方針

- I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。
- II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます。
- III 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます。
- IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます。
- V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます。

※本報告書は、平成27年度事業の重点施策の結果であり、第1期の飯能市教育振興基本計画に沿った内容となります。

# I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます

## 1 生きる力を育む教育指導の充実

### (1) 確かな学力を育む教育の充実

#### ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進

- ・K 4<sup>※</sup>の視点による研修システムを確立し、授業改善を進めます。

※K 4とは、授業改善の視点として「課題・活動・確認・価値（K 4）」4つの「K」を明示したものである。

#### ② 学習状況を把握し改善に向けた取組の推進

- ・「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学習状況調査」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		＜達成率90%＞	＜B評価＞
事業名 H 22からの継続目標 学力向上プロジェクトの推進	学力の向上を目指して、1年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	○課題 (県学調) 小6:国語・算数、中1:国語・数学 (全学調) 小6:国語・算数、中3:国語B・数学B・理科 ○小6校中5校の全教員にK 4の視点による授業研究を実施した。 ○飯能西中の研究発表会を10月30日に実施し、市内全校から教員が参加した。西中独自の取組を他校が実施した。	県学調、全学調では課題もあったが、K 4に関する授業研究、飯能西中学校の研究発表(K 4に関する)を他校も参考にした学校もあり、概ね期待どおり。

#### ③ 学習習慣形成の推進

#### ④ 学校間交流の推進

### (2) 社会の変化に対応した教育内容の充実

#### ① 伝統と文化を尊重する教育の推進

- ・郷土館や図書館と連携し、郷土を愛する教育を進めます。
- ・地域の人材を活用した授業等をとおして、郷土を愛する教育を進めます。
- ・地域の環境を活用した授業等をとおして、郷土を愛する教育を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		＜達成率90%＞	＜B評価＞
事業名 H 23からの継続目標 郷土を愛する教育の推進	飯能を好きな児童の育成を目指して、飯能の良さを知り体験する活動を進める。	○学習林活用教育での体験活動を全校で実施した。取組内容をパネル掲示にして西川材フェアで公開した。 ○地域人材を活かした活動が前年度と改善して実施した。 【地域人材の活用延べ人数】 小学校39%増・中学校43%増 ○地域の施設を活かした教育は例年通り実施した。	学習林活用教育に関して改善の課題もあるが、地域人材の活用も増加、学習林活用教育の公開・発表されたので概ね期待どおり。

#### ② 国際理解教育の推進

- ・姉妹都市ブレア市との交流をはじめ、豊かな国際性を身に付ける国際理解教育を進めます。

- ・外国語活動における小中連携を進め、A E Tの活用や兼務発令等により外国語やその他の文化などに親しむ教育とコミュニケーション能力を高める教育を進めます。

### ③ 環境教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

### ④ 情報教育の推進

- ・テレビ会議システムなど、教育機器を活用した授業づくりを進めるとともに、情報モラルの育成を進めます。

### ⑤ キャリア教育の推進

- ・生き方指導としての進路指導・キャリア教育を進めます。
- ・K 4 – K I D\*宣言に基づき、図書館等との連携を深め、読書好きな児童生徒の育成を進めます。

\*K 4 – K I Dとは、学校と家庭・地域が連携して取り組むことを目指した飯能市独自の学力向上のための宣言。K 4 と家庭での取組K I D（家庭学習・あいさつ・読書）を明示した。

## （3）心の教育の充実

### ① 人権教育の推進

- ・すべての教育活動において、基本的人権の視点に立った教育を進めます。
- ・「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取組を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	いじめのない学校の実現を目指して、いじめ防止基本方針に基づいた取組を進める。	<達成率90%> ○いじめの認知件数（H 27 年度 3 学期末現在） 小学校 28 件・中学校 12 件 解消率： 小学校 89 % (解消 25 件 繼続支援 3 件) 中学校 67 % (解消 8 件 繼続支援 4 件)	< B 評価 > いじめ解消率は継続支援が残ったが、各会議の実施を滞りなく行なえたので概ね期待どおり。
事業名 新規目標	いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進		

### ② 道徳教育の推進

- ・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」というあいさつと感謝の言葉がかわせるような子どもの育成を進めます。
- ・道徳教育推進教師を中心とした、学校教育活動全体での道徳教育を進めます。

### ③ 教育相談活動の推進

- ・児童生徒一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		<達成率90%>	<B評価>
事業名 H25からの継続目標 不登校の減少に向けた取組の推進	不登校児童生徒の減少を目指して、教育相談・不登校対策を進める。	<p>○不登校児童生徒在籍率（H27年度3学期末現在）</p> <p>小学校：13人・0.36%（0.08%減）</p> <p>中学校：51人・2.77%（1.24%増）</p> <p>【昨年度】</p> <p>小16人（0.44%）</p> <p>中29人（1.53%）</p>	不登校児童・生徒は全体として増加したが、SSW指導員の派遣、スーパーバイザー研修を実施したので、概ね期待どおり。

#### ④ ボランティア・福祉教育の推進

- ・ボランティア・福祉教育にかかる教育活動を進めます。

#### ⑤ 特別支援教育の推進

- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育を進めます。

### （4）健康・体力の増進と安全教育の充実

#### ① 健やかな体を育む教育の推進

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、子どもの生活リズムの向上を進めます。
- ・体力・健康に関する指導について研究を実践し、その成果を各学校に広め体力向上を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		<達成率90%>	<B評価>
事業名 H22からの継続目標 体力向上の推進	体力の向上を目指して、1年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	<p>○新体力テストABCの割合</p> <p>小学校：80.4%（0.3%減）</p> <p>中学校：82.1%（2.4%減）</p> <p>90%を越える学校は増えている。</p> <p>○県全体の課題である「ボール投げ」に関しては大変向上した。</p>	新体力テスト上位%は前年度より微減となつたが、各校課題解決に向け90%超の学校が増え、「ボール投げ」の向上が見られたので、概ね期待どおり。

#### ② 安全教育の推進

- ・自他の命を尊重する安全教育を進めます。
- ・地域と連携し、児童生徒の防災意識の向上と「状況適応能力」を育成する防災教育を進めます。

#### ③ 食育の推進

- ・学校給食における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

### （5）生きる力の基礎を育成する幼稚園教育の充実

#### ① 少人数の良さを生かした教育の推進

#### ② 恵まれた自然環境を生かした教育の推進

## 2 幼稚園・学校経営の充実

### (1) 特色ある幼稚園・学校づくりの充実

#### ① 学習林活用教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。【再掲】

#### ② 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。

#### ③ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- ・学校応援団を活用し、学校・家庭・地域が連携した教育を進めます。

#### ④ 総合的な学習の時間の推進

- ・地域の人材や施設を活用した教育活動を進めます。

#### ⑤ 学校評価システムの推進

#### ⑥ 学校施設の有効な活用の推進

#### ⑦ 地域との交流を生かした幼稚園教育の推進

- ・幼小中学校・家庭・地域の連携により、名栗幼稚園の特色ある教育を進めます。

### (2) 校種間連携の充実

#### ① 幼稚園、保育所、小学校の連携の推進

- ・幼保小が連携し、校区の課題を明確にした取組を進めます。

#### ② 小学校、中学校の連携の推進

- ・中学校区単位で、教育課程に位置付けた「連携型」小中一貫教育の取組を進めます。

関連する事業	目標	達成報告	評価
学校教育課・教育センター	「連携型」小中一貫教育を目指して、教育課程に位置付けた取組を実施する。	<達成率100%> ○全校で教育課程に位置付けた連携が実施された。	<A評価> 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。
H25からの継続目標 事業名	中学校区における9年間で育てる「子ども像」を明確化した取組の推進		

#### ③ 中学校、高等学校の連携の推進

- ・市内高等学校への上級学校訪問、中学校への出前授業を進めます。

### (3) 小規模校における教育活動の充実

#### ① 小規模校の特色を生かした教育の推進

- ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。【再掲】

#### ② 小規模特認校制度の推進

- ・特色のある教育を進めるとともに、制度の周知方法を工夫し、制度の利用増

を図ります。

### ③ 複式学級設置校の教育課程の工夫の推進

- ・「わたりの授業」についての実践研究を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	複式学級の授業の充実を目指して、「わたりの授業」の実践研究を実施する。	＜達成率100%＞ ○東吾野小学校と名栗小学校で複式学級における市内公開の授業研究会が実施された。吾野小学校と西川小学校で校内研修として複式究授業が実施された。 ○公開授業に、市内全小学校から教員が参加し、わたりの授業への理解が広がった。	＜A評価＞ 計画どおり進行し、「わたりの授業」への授業理解も広がったので期待どおり。
事業名 H25からの継続目標 「複式学級」の授業改善			

## 3 教職員の資質の向上

### (1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

#### ① 若手教員育成のための研修の推進

- ・実践的指導力の育成を図る研修を計画的に進めます。

#### ② 職責に応じた研修の推進

- ・職責、ライフステージに応じた研修を計画的に進めます。

#### ③ 教育課題解決のための研修の推進

- ・不登校を減少させるための研修を重点的に進めます。

#### ④ 視野を広めるための研修の推進

#### ⑤ 外部機関との連携による研修の推進

- ・市内の大学と連携し、専門的な指導力の向上を図る研修を進めます。

### (2) 人事評価制度の充実

#### ① 教職員評価システムの推進

- ・管理職に対する人事評価に関する研修を充実し、教職員評価システムの信頼性を高め、学校の活性化を進めます。

## II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます

### 1 学校施設の整備

#### (1) 学校施設の整備の推進

##### ① 校舎等の耐震化の推進

- ・加治中学校校舎、飯能第一小学校・加治東小学校・飯能第一中学校屋内運動場の耐震補強工事及び名栗中学校武道場・美杉台中学校多目的ホールの天井落下防止工事を実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	加治中学校の校舎や、飯能第一小学校、加治東小学校及び飯能第一中学校の屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また美杉台中学校多目的ホール及び名栗中学校武道場の天井落下防止工事を実施します。	＜達成率90%＞	＜B評価＞
H 22からの継続目標		<ul style="list-style-type: none"><li>・加治東小学校及び飯能第一中学校の屋内運動場、美杉台中学校多目的ホールの工事は当初の予定通り完成した。</li><li>・加治中学校校舎及び名栗中学校武道場の工事は、現場での不測の状況等により工期を延長せざるを得なかったが、無事完成した。</li><li>・飯能第一小学校屋内運動場については、完了した設計を基に、発注準備を進め、3月末の工事契約に至った。なお工期は平成28年10月末の予定である。</li></ul>	予定していた6件の工事のうち、5件が完了したので概ね期待どおり。

##### ② 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ・原市場小学校浄化槽沈殿槽修繕、危険遊具等撤去新設工事等を実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	学校施設の老朽化に伴い、緊急性や予算額を踏まえた計画的な修繕や改修工事を行う。	＜達成率100%＞	＜A評価＞
H 25からの継続目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・原市場小浄化槽沈殿槽修繕</li><li>・小中学校危険遊具等撤去新設工事</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・小中学校危険遊具等撤去新設工事については、南高麗小遊具の撤去工事及び設置工事や、加治小学校砂場枠改修工事を行った。</li><li>・その他の修繕・工事についても、緊急性や危険性などを考慮し、優先度が高いものから実施した。</li></ul>	予定していた工事が完了したので期待どおり。

##### ③ 社会の変化に応じた学習環境の整備

- ・平成27年度から西川、原市場、双柳の各給食共同調理場の学校給食調理等業務の民間委託を実施し、民間のノウハウを生かした安心・安全な給食の提供を行います。

### 2 就学援助の推進

#### (1) 就学援助の推進

##### ① 利用しやすい奨学金制度への見直し

- ・奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より減らします。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を110万円減らす。	<達成率90%>  ・未納になっている者に電話や文書による督促を行い、また、通知等に返答のない者については、連帯保証人に対し、督促を行うなど、奨学生及び連帯保証人に對し、継続的な働きかけを実施した。 ・休日返還窓口を3回開設し、返還に係る相談を受けることで、計画的な返還が可能となる奨学生が増えた。 ・3月末の未納額は20,073,664円で、前年同月に対して712,950円減少した。	<B評価>  目標額には若干届かなかつたが、未納額が減少したため概ね期待どおり。
H24からの継続目標	事業名 奨学金貸付事業		

## ② 高額な通学費への支援

- 保護者負担を軽減するための「飯能市高等学校等通学費補助金」を実施します。

### III 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます

#### 1 家庭教育・地域教育の推進

##### (1) 家庭教育・地域教育の推進

- ① 家庭の教育力の向上
- ② 地域での子どもの自立支援
- ③ 自然と共生する学習機会の充実
  - ・「子ども大学はんのう」を開催し、自然を生かした体験学習の機会を提供します。

関連する事業	目標	達成報告	評価
生涯学習課	大学や企業との連携により地域の教育力を活かし、子どもの学ぶ力や生きる力を伸ばすため、子ども大学はんのう（第2期）を開催する。	<b>＜達成率100%＞</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・第2期全日程を終了し、47人全員に修了書を交付した。</li><li>・アンケートでは、普段の授業では学べないことが学べた、他校の生徒と交流できたなどの記載があり、多くの子供から満足との結果を得た。</li><li>・第3期の開催内容についても検討しており、平成28年度においてもこの成果を活かし、実施していく。</li></ul>	<b>＜A評価＞</b> <p>子どもたちに満足してもらえる結果で終了でき、目標を達成したので期待どおり。</p>
H25からの継続目標			

## IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます

### 1 生涯学習推進体制の整備

#### (1) 学習相談体制の充実

##### ① 学習相談機能の整備

#### (2) 学習環境の整備

##### ① 学習施設の整備

##### ② 学習情報の提供

- ・市の広報やホームページのほか地元新聞やケーブルテレビ等を活用し、幅広く学習情報を提供します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館 H22からの継続目標 事業名 資料・情報提供の充実	利用者の調査・研究活動を支援するため、各種資料の充実を図るとともに図書館WEBサイトを活用した情報発信や青梅市立図書館や駿河台大学と連携して図書館情報を提供する。	<b>＜達成率100%＞</b> ・年間受入冊数(雑誌を含む)は約8,900冊であった。 ・図書館WEBサイトを56回更新した。 ・駿河台大学メディアセンターに設置した市立図書館紹介コーナーから市立図書館の最新の情報を6回発信した。 ・青梅市図書館との相互利用担当者会を年3回開催した。 ・ダイアプラン等ご利用協定締結図書館の情報提供を年6回行った。	<b>＜A評価＞</b> 利用者の増加と周知が図られ、全ての指標が達成できたので期待どおり。

#### (3) 生涯学習ネットワークの構築

##### ① 生涯学習関係機関の連携強化

##### ② 学習機会の広域化

##### ③ 教育機関との連携

- ・市民の多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

### 2 生涯学習機会の充実

#### (1) ライフステージに応じた学習機会の充実

##### ① 多様な学習機会の充実

- ・市の専門的知識を提供することにより、市民の生涯学習の一助とするとともに市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。

##### ② 公民館活動の充実

- ・地域ニーズや地域の課題を捉えて、人口増に繋がる事業を展開します。
- ・生涯学習の推進のため、効果的な情報発信を進めています。

- ・学校や地域の各種団体などとの連携による講座を開催します。
- ・教養を高める生涯学習のまちの構築と健康増進のため、配本所の充実及び野菜を活用した食育講座やウォーキング講座によるウォーキング人口の拡大を図り、健康で教養豊かな飯能人をつくります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	多様な学習機会の充実を目指し、地域ニーズや地域課題を捉えて、地域資源などを活用した講座を開催する。	＜達成率100%＞ 戦後70年企画事業を各館において実施するとともに、地域課題を捉え健康や介護医療、振り込め詐欺被害防止などに関する事業を各館で実施した。また、全館連携事業の「出逢いのススメ」は、定員（男女各20名）の申込みがあり、豊かな自然を生かした3回のアウトドア体験をとおして参加者相互の出会いに繋げることができた。	＜A評価＞ 予定していた事業を実施できたので期待どおり。
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	生涯学習の推進のため、地域ニーズに合った情報発信に取り組む。	＜達成率100%＞ 公民館（地区行政センターだより）を月1回発行した。ホームページの掲載内容を充実し、公民館事業や地域の魅力を継続的に発信した。また、飯能アプリを積極的に活用し、講座や地域イベント情報等の周知を図った。報道機関への情報提供や学校との連携による事業風景写真等の掲示を各館で実施し「見える化」を推進した。フェイスブックは、担当者部会が先進地を視察し、導入の効果や課題を整理した。	＜A評価＞ 予定どおり実施できたので期待どおり。
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	学校や地域団体などの連携を深め、協働による事業を開催する。また、トレーニングキャンプを全館で実施する。	＜達成率95%＞ 自治会、学校、児童館、保育所、高齢者団体等と連携し、地域の特性を生かし世代間交流事業や防犯・防災講座を各館（各地域）で実施した。 トレーニングキャンプは、予定した6館のうち5館で実施したほか、新規で加治公民館が企画したが、小学生を対象とした他の地域事業と重なるなどしたため次年度から実施することとした。	＜B評価＞ トレーニングキャンプは、予定した6館のうち5館で実施できたので、概ね期待どおり。
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
公民館	健康で教養豊かな市民のまちをつくるため、健康増進に関する講座を開催するほか、配本所の充実を図る。	＜達成率100%＞ 各館（各地域）において地域野菜グルメ調理講座を実施したほか、関係団体と連携し「野菜いっぱい創作料理教室」を開催するなど、野菜を活用した講座を開催した。また、複数の公民館が連携し公共交通機関を利用したウォーキング事業を実施するなど、ウォーキング人口の拡大を図るとともに、地域間交流も推進した。配本所の充実に関しては、各館の現状を考えながら、今後図書館と連携して検討していく。	＜A評価＞ 予定どおり実施できたので期待どおり。

### ③ 図書館活動の充実

- ・利用者の読書意欲の高揚と調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図るとともに、課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供します。
- ・利用者の調査・研究活動の支援と利便性の向上のため、郷土館などと連携しＩＣＴを活用した情報提供を行います。
- ・利用者が飯能に関する事を容易に調べられるように、飯能に関するニュースを掲載した新聞記事を整理して公開します。
- ・子どもが読書や図書とのふれあう機会を多くもてるよう、「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組みの実践を推進します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	利用者の調査・研究活動を支援するため、郷土館をはじめ他課と連携し、調査等に役立つ図書情報を提供する。	＜達成率100%＞ ・駿河台大学メディアセンターの市立図書館コーナーに市立図書館、こども図書館を紹介するタグを設置した。 ・郷土館、保健センター等他課との連携した資料展示を、11回開催した。	＜A評価＞ 市政の情報発信と各所との連携が図られたので期待どおり。
事業名	H 24からの継続目標 郷土館等との連携による調査活動の支援		
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	飯能に関するニュースを利用者に提供するため、ニュースを収集・整理して公開する。	＜達成率100%＞ ・文化新聞記事見出しデータを1,500件入力し公開した。また、平成20年度～平成26年度までの飯能市関連記事掲載状況リストを公開した。	＜A評価＞ 新聞の見出しや関連記事を入力・公開したので期待どおり。
事業名	H 24からの継続目標 飯能に関するニュースの収集		
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	幼児・児童・生徒に図書とふれあう機会を多くもってもらうために、「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館・保育所などと連携して読書活動を推進する。	＜達成率105%＞ ・学校等の図書館見学を12団体（保育所・幼稚園4回、小学校11回、中学校1回）受け入れた。出前講座を15回（小学校6回、中学校1回、保育所6回）行った。また、ムーミンに関する学校、保育所向け出前講座を5回行った。 ・調べ学習のための団体貸出を年間61回（小学校55回、中学校6回）行った。 ・市立図書館における飯能高校図書室との交換展示を10回開催し、展示資料の貸出数は、1冊1回以上であった。	＜S評価＞ 各達成指標において、予定以上の結果となったので期待を上回る。
事業名	H 24からの継続目標 学校図書室等との連携		

### ④ 世代別学習機会の充実

- ・子どもの学ぶ力や生きる力の向上と大学との連携による地域の教育力の向上を目的に、「子ども大学はんのう」を開催します。開催にあたっては、学生スタッフにも関わってもらい世代間交流を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 H 25からの継続目標 子ども大学はんのう（第2期）の開催	大学や企業との連携により地域の教育力を活かし、子どもの学ぶ力や生きる力を伸ばすため、子ども大学はんのう（第2期）を開催する。	<p>・第2期全日程を終了し、47人全員に修了書を交付した。</p> <p>・アンケートでは、普段の授業では学べないことが学べた、他校の生徒と交流できたなどの記載があり、多くの子供から満足との結果を得た。</p> <p>・第3期の開催内容についても検討しており、平成28年度においてもこの成果を活かし、実施していく。</p>	子どもたちに満足してもらえる結果で終了でき、目標を達成したので期待どおり。

## （2）現代的課題に関する学習機会の充実

### ① 人権に関する学習機会の充実

- ・様々な人権問題についての理解を深めるための講座を開催するとともに、地域で人権意識の高揚と啓発を行うための指導者養成を図ります。

### ② 環境問題に関する学習機会の充実

### ③ 安心して暮らすための学習機会の充実

## 3 地域学習の充実

### （1）地域学習の推進

#### ① 教育機関との連携

- ・市民の多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。（再掲）

#### ② 自然体験活動の推進

- ・「子ども大学はんのう」を開催し、自然を生かした体験学習の機会を提供します。（再掲）

### （2）市民文化活動の推進

#### ① 市民文化活動の奨励

- ・市民の文化・スポーツ活動において優秀な成績を収めた個人・団体に対して文化スポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。
- ・市民の文芸創作活動をうながすとともに、市民文化の向上を図るため、文藝飯能を刊行します。

#### ② 文化施設の活用

### （3）自然・歴史・文化遺産の継承と活用

#### ① 地域資料の調査、保存と活用

- ・市民が指定文化財に対して、身近に感じ、関心を高めていただけるように文

化財めぐり、文化財講座などを開催し、普及・啓発を図ります。

- ・市指定文化財である店蔵絹甚に、より多くの方が訪れてもらえるようにリーフレットを更新し、PRの充実を図ります。
- ・市の宝である文化財に対してより多くの市民が興味を持ち、歴史を身近なものとして感じていただけるように、市のHPの充実を図ります。
- ・指定文化財の所有者（管理者）に対して、保存事業費補助金を交付することにより、適正な管理・活用・継承意識の高揚を図ります。
- ・埋蔵文化財出土品の室内整理作業を進めるとともに、市民の方に遺跡発掘調査の重要性や歴史について、関心を高めていただけるように、出土品の展示や貸出、小・中学校への出張授業、市民講座の開催、中学生の社会体験チャレンジの受け入れなどを積極的に実施します。
- ・埋蔵文化財の発掘調査現場において、普及・啓発活動の一環として出土品や調査の実施状況を記した案内表示板を設置して、市民への周知活動の充実を図ります。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	新規目標	<p>市民が文化財に親しむきっかけとなるような講座の開設や文化財めぐりを実施する。</p> <p>市民が文化財への関心を高めていただくため、HPの充実を図る。</p> <p>市民が市の宝である文化財を身近に感じ、文化財を通じ、郷土を愛する意識の高揚を図る。</p>	<p>募集人数以上の応募があり、アンケート結果でも高評価をいただけたので期待どおり。</p>
関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	H22年度からの目標	<p>年度当初の関連部署とのヒアリングに基づき、年間の調査計画を作成し、その計画に沿って発掘調査を実施する。</p> <p>平成23年度発掘調査を実施した加能里遺跡の室内調査は、報告書刊行までの計画で、可能な限り前倒しで事業を進める。</p> <p>民間や個人等の開発についても、臨機応変に対応する。</p>	<p>年度内に終了すべき範囲は終えることができたので期待どおり。</p>

## ② 郷土館活動の充実

- ・特別展「武蔵野鉄道開通100周年記念（仮称）」を開催し、その充実を図ります。
- ・展示、催し物等の広報活動を充実します。
- ・古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進します。

- 平成28年度の高麗郡建郡1300年にむけて当館での特別展の準備を進めるとともに、多くの市民に関心をもってもらうように働きかけます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
郷土館	歴史を意識したまちづくりをめざし、より多くの市民に鉄道が引けた意義と今後のまちの発展のあり方を考えもらうため、特別展「武蔵野鉄道開通100周年記念（仮称）」を開催し、その充実を図る。	＜達成率120%＞ ・特別展の1日平均入館者数160.9人、満足度89.4%と、目標を大きく上回った。 ・飯能駅や西武鉄道（株）などと連携して飯能駅構内で記念セレモニーや写真展等の関連事業を5回開催した。この功績で西武鉄道（株）より感謝状をいただいた。 ・入館者数はここ数年の特別展では最高であり、展示図録も期間中に売り切れるほど好評だった。多くの方に鉄道開設までの努力や鉄道開通に伴う飯能のまちの発展のあり方を知っていただけた。	＜S評価＞ 入館者数、満足度とも目標を大きく上回り、関連事業を多数実施できたので期待を上回る。
事業名 郷土館	特別展の充実	達成報告	評 価
郷土館	地域の特徴や魅力を多くの人に知ってもらうことを目的に、効果的な情報発信をすすめるため、当館の展示、催し物等の広報活動を見直し、その充実を図る。	＜達成率100%＞ ・10月に特別展のポスターを配布した市内商店街に対して掲示しているかどうかの確認を行い効果測定した。また、同時に、今後掲示していただける可能性がある商店を抽出した。 ・その結果を踏まえ、3月に収蔵品展のポスターを配布して効果測定を行い、より有効なポスター配布基準を作成した。	＜A評価＞ 計画どおり進行し、目標としたポスター配布基準を作成できたので期待どおり。
事業名 郷土館	広報活動の充実	達成報告	評 価
郷土館	地域の魅力や特性を究明することを目的とし、収蔵資料の価値を高め、地域の情報を引き出し、それを多くの人が利用できるようにするために、収蔵資料の整理を推進する。	＜達成率90%＞ ・収蔵資料の整理をすすめ、民具137点、古文書2,271点、古写真348点のカードを作成し台帳に登録した。点数は目標をはるかに上回った。 ・原市場地区に所在し当館に寄贈、寄託されている古文書を整理し「収蔵資料目録7（文書目録その2）」として刊行した。 ・考古資料の整理方法について検討したが、カード・目録の書式作成までには至らなかった。	＜B評価＞ 台帳登録数は目標を大きく上回ったが考古資料の書式設定ができなかったため、概ね期待どおり。
事業名 郷土館	資料整理の推進	達成報告	評 価
郷土館	歴史を意識したまちづくりを目指し、平成28年度の高麗郡建郡1300年の意義を知つてもらうため、当館での特別展の準備を進めるとともに、多くの市民に関心をもってもらうように働きかける。	＜達成率100%＞ ・展示可能な資料リストの作成は終了し、日高市所蔵の資料については写真撮影を終えた。 ・市民に高麗郡建郡の意義を伝える講座として生涯学習課主催による文化財講座と文化財めぐりを開催し、このうちの文化財めぐりの講師を当館学芸員が担当した。	＜A評価＞ 計画どおり進行し、目標まで達したので期待どおり。
事業名 新規目標 高麗郡建郡1300年記念にむけての準備、調整	達成報告	評 価	

### ③ 市民主体による地域活動の支援

- 郷土芸能保存会による伝統芸能活動や郷土芸能講習会（おはやしフェスティバル）の開催を通して、技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民が地域の伝統文化に親しんでもらえるよう活動を支援します。

## 4 学習成果の還元

### (1) ボランティア活動への支援

#### ① ボランティアの育成と活動支援

- ・図書館ボランティアの発展のために組織運営を支援します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	ボランティア組織の安定した運営を図るために、追加のボランティアを募集するとともに、組織の内規を定めて自主的な活動ができるように支援する。	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 H24からの継続目標 図書館ボランティアの支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボランティア活動要綱」を決定した。</li> <li>・ボランティアの名称を決定した。</li> <li>・映画会（12回）、おはなし会（24回）、図書館のつどい等の図書館行事で活動した。</li> </ul>	新たな加入者も加わり、活動要綱を策定し、組織としての運営が安定したので期待どおり。

#### ② ボランティア活動の場の充実

### (2) 人材の養成・団体への支援

#### ① 指導者登録制度の充実と活用

- ・市民の様々な学習要求に応えるため、生涯学習に関する人材データを活用します。

#### ② 学習団体の育成と支援

#### ③ 人材の養成と活用

### (3) 学習成果を生かすしくみの整備

#### ① 発表の場の提供・充実

- ・市民の様々な学習活動の成果発表ならびに交流の場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
生涯学習課	小学生から大人までがステージ発表等の出演者及び見学者として来場者し、世代間交流が図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 H22からの継続目標 生涯学習フェスティバルの実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度は実行委員会を実行委員と協力員に分けて会議の出席人数を絞り、実行委員を主体としてフェスティバルを実施した。</li> <li>・実行委員からの提案を積極的に採用し、多彩な催しを行った。</li> <li>・生涯学習フェスティバルの来場者は、約950名で昨年度よりも増加した。</li> <li>・アンケートについては集計中であるが、多くの人から満足との回答をいただいている。</li> </ul>	来場者も増加し、アンケートでも満足との回答を多くいただけたので期待どおり。

## V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます

### 1 健康体力づくり事業の充実

#### (1) 公民館を拠点とした活動の推進

##### ① 健康体力づくりの展開

- 専門指導員（健康運動指導士）による幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開します。
- バランスDE若さアップ講座に代わる新たな講座の開催に向けた準備をします。

##### ② ウオーキングのまちづくり

- 専門指導員（健康運動指導士）による公民館を拠点としたウォーキングの取組を推進します。
- 市内9地区のウォーキング大会を、NPO法人飯能市体育協会に事業委託して開催します。

関連する事業	目標	達成報告	評価
体育課		<達成率100%>	<A評価>
事業名 H22からの継続目標	公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	<p>・バランスDE若さアップ講座については定員を超える応募があり、出来る範囲で定数以上の参加者により実施することができた。</p> <p>・エクササイズウォーキングペースックコースについては、定員の80%の応募状況であるが、原市場地区行政センターでは123%の申込みがあり、ウォーキングに対する意識の高揚が見られ始めている。</p> <p>・ウォーキング道場は、55%の応募状況であるが、少しずつウォーキングを始める方が出てきていることは、ウォーキング人口が増えることが期待できる。</p>	計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。

#### (2) スポーツイベントの充実

##### ① 飯能新緑ツーデーマーチ

- 「目指せ！参加者2万人!!」のもと、市役所職員や関係団体と連携しながら参加者の増員に向けた取組を積極的に行います。また、全国から訪れるウォーカーをおもてなし、気遣いの心で迎えます。

関連する事業	目標	達成報告	評価
体育課		<達成率110%>	<S評価>
事業名 H22からの継続目標	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツーデーマーチを実施する。また、第13回大会において、"参加者2万人"を達成する。	<p>・コース担当を中心としたコース下見を実施し、第14回大会のコースを決定した。</p> <p>・2月に統括部会、実行委員会を開催し、大会計画が決定した。</p> <p>・3月22日から事前申込の募集を開始した。</p> <p>・新たな参加者の確保を目指した事業（ヤマノススメ、近隣自治体ご当地グルメ等）を第13回大会同様に開催することを決定した。</p>	目標値を超える成果があり、期待以上。

## ② 奥むさし駅伝競走大会

- 歴史と伝統ある奥むさし駅伝競走大会を、関係団体と連携し多くの市民の参加とともに競技性の高い魅力的な大会にします。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課	H22からの継続目標	安全で競技性の高い『第14回奥むさし駅伝競走大会』を実施する。	達成率100%<A評価>
事業名	第14回奥むさし駅伝競走大会	<p>・出場チームの上限 220チームに対し、255チームの応募があり、競技規程に基づき選考した。</p> <p>・女子チームの参加があった。</p> <p>・前回大会の反省を踏まえ、各部会でスムースな大会運営の検討を行い、実施した。</p> <p>・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。</p>	<p>計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。</p>

## ③ 新たなスポーツイベントの検討

- 自転車競技について、政策実現課や庁内関係部署並びに関係機関と協議、検討します。

## (3) 生涯スポーツ推進体制の整備

### ① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各競技団体と地区体育協会の他、スポーツ少年団、レクリエーション協会等の活動を支援します。
- 全国大会出場などの選手及び団体へスポーツ奨励金を交付します。

### ② スポーツ教室等の開催

- 市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及振興するため、NPO法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツ大会等を事業委託して開催します。
- 第58回奥武蔵中学校駅伝競走大会の事務局を、NPO法人飯能市体育協会から飯能市教育委員会教育部体育課に移して開催します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課	新規目標	安全で競技性の高い『第58回奥武蔵中学校駅伝競走大会』を実施する。	達成率100%<A評価>
事業名	第58回奥武蔵中学校駅伝競走大会	<p>・参加チーム 男子の部 63チーム 女子の部 53チーム</p> <p>・監督会議を開催し、会場変更に伴う注意点の確認、課題に対する協議を行い、大会当日はスムースな大会運営ができた。</p> <p>・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。</p>	<p>計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。</p>

### ③ ホッケーのまちづくり

- ・『ホッケーのまち飯能』推進計画に基づき、ホッケーのまちづくりを推進します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 H 22からの継続目標 ホッケーのまちづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回ホッケー教室 小学校：12校 中学校：8校 中学生放課後：1クラブ</li> <li>全8中学校で先生との事前調整を行い、中学1年生は必修授業として授業を行った。</li> <li>市HPや図書館のホッケーコーナーを利用し、ホッケーのまち飯能をPRした。</li> <li>平成28年度開催の全国スポーツ少年団交流大会の開催に向けて、準備を始めた。</li> </ul>	計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。
体育課 新規目標 第70回国民体育大会関東ブロック大会ホッケー競技の開催	第70回国民体育大会関東ブロック大会ホッケー競技を開催するとともに、ホッケーのまち飯能を広く周知する機会とする。	＜達成率100%＞	＜A評価＞ 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。

## 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

### (1) スポーツ施設の計画的な修繕の実施

#### ① 施設修繕計画の策定

- ・スポーツ施設の安全な運営を確保するため、NPO法人飯能市体育協会を中心とする飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体と連携し、スポーツ施設の修繕計画を作成します。

### (2) スポーツ施設の効果的な管理運営

#### ① 利用者サービスの向上

- ・指定管理者の飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体と連携し、利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性を向上します。

体育課	都市公園運動施設のサービス向上を図るために、指定管理者による管理運営を進める。	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名 H 22からの継続目標 都市公園運動施設の指定管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と必要に応じて協議・検討を行った。</li> <li>指定管理者と施設の安全確認（危険箇所の確認）を行った。</li> </ul>	健全な施設管理運営ができる、期待どおり。

## 4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

### (1) 総括

平成27年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」の割合は、全35事業中32事業あり、全体の91.4%を占めました。また、「期待を上回る（S評価）」が3事業ありました。

全体としては、良好な事務執行ができたと評価できますが、引き続き創意工夫し、努力していく所存です。

＜集計表＞

所管課	評価結果の内訳（事業数）					
	S	A	B	C	D	事業数合計
教育総務課	0	2	2	0	0	4
学校教育課・教育センター	0	2	5	0	0	7
生涯学習課	0	4	0	0	0	4
体育課	1	6	0	0	0	7
図書館	1	4	0	0	0	5
公民館	0	3	1	0	0	4
郷土館	1	2	1	0	0	4
事業数合計	3	23	9	0	0	35
評価の割合（%）	8.6	65.7	25.7	0.0	0.0	100.0

（参考）平成26年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	2	20	13	1	0	36
評価の割合（%）	5.5	55.6	36.1	2.8	0	100.0

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を(顕著に)下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、28ページ以降に掲載しています。

## 5 教育委員会の活動状況と評価

平成27年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

### 【主な活動状況】

項目		回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	15回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(3回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	1人	
	議事録の公開、広報・広聴活動の状況	—	議事録(概要)、会議日程をホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	7回	「入間地区教育委員会連合会 視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	15か所	小学校4校、中学校4校、公民館7館

項目		回数等	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	4議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	0議案	
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	9議案	「飯能市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する規則(案)について」ほか
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	10議案	「平成27年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事にすること	7議案	「平成27年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	16議案	「奨学生の決定について」ほか
	合計	46議案	

## 【評価】

開かれた教育行政を推進するため、平成21年度から市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供に努め、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、今後も平成22年度から平成27年度までの計画である「飯能市教育振興基本計画」に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局と連携を強化して計画の実現に取組んできました。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、計画の最終年度となる平成27年度の達成状況は次のとおりです。

なお、学校教育課の「基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）」については、平成26・27年度は埼玉県が調査を実施しなかったためその結果及び達成度が記載できませんでした。

### 教育総務課

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度（%）	目標値
					平成27年度
校舎の耐震化率	92.2 %	94.2 %	100.0 %	100.0%	100 %
屋内運動場の耐震化率	77.3 %	86.4 %	95.5 %	95.5%	100 %

### 学校教育課

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度（%）	目標値
					平成27年度
基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）	94.4 % (小学6年生)	— (小学6年生)	— (小学6年生)	— (小学6年生)	95 % (小学6年生)
	90.5 % (中学3年生)	— (中学3年生)	— (中学3年生)	— (中学3年生)	95 % (中学3年生)
新体力テストで全国平均を上回る項目の割合	56.6 % (小学校)	66.7 % (小学校)	60.5 % (小学校)	80.7% (小学校)	75 % (小学校)
	63.6 % (中学校)	63.0 % (中学校)	57.4 % (中学校)	76.5% (中学校)	75 % (中学校)

### 生涯学習課

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度（%）	目標値
					平成27年度
公開講座延べ参加者数	4,633人	3,213人	3,062人	38.3%	8,000人
出前講座開催件数	276件（累計）	340件（累計）	478件（累計）	281.2%	170件（累計）

### 体育課

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
スポーツ施設利用者数	283,115人	288,640人	292,246人	97.4%	300,000人
学校体育施設開放事業における利用者数	134,448人	143,312人	149,265人	93.3%	160,000人
ツーデーマーチ参加者数	13,669人	18,741人	21,685人	120.5%	18,000人

### 公民館

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
公民館利用者数	301,914人	298,830人	311,415人	91.9%	339,000人
公民館学習グループ数	575団体	572団体	572団体	84.1%	680団体
健康づくり推進事業数	89事業	109事業	102事業	137.8%	74事業

### 図書館

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
蔵書数	274,682冊	282,588冊	288,772冊	96.3%	300,000冊
年間貸出数	372,321冊	439,238冊	440,919冊	99.8%	442,000冊
年間利用人数	91,761人	106,953人	109,505人	110.8%	98,800人
年間児童(0~18歳)利用人数	28,812人	25,116人	25,621人	85.4%	30,000人

### 郷土館

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
ホームページアクセス月平均件数	470件	812件	994件	216.1%	460件
レファレンス*件数	161件	218件	265件	132.5%	200件
資料利用件数	150件	105件	139件	106.9%	130件
資料整理件数	210件	261件	255件	110.9%	230件
出張授業受講延べ人数	630人	418人	550人	50.0%	1,100人
入館者数	27,410人	29,431人	31,517人	112.6%	28,000人

\*レファレンス…利用者の求めに応じ、その調査・相談等に対し資料等を使って援助すること。

注：本結果は、平成27年度までのものであり、現「スポーツ課」は「体育課」と表記しております。

## 6 評価会での学識経験者の意見等

点検・評価の客觀性を確保する観点から、飯能市教育行政の重点施策の評価会を開催し、駿河台大学の教授2名から次のようなご意見をいただきました。

### 【各事業の評価結果と目標管理について】

- ・進捗状況と目標値だけで達成度を評価しているが、職員が目標達成に向けて努力している部分も評価対象として明記し、総合的な判断から評価すべきである。
- ・学力向上やいじめ解消の目標設定は、職員の努力ではどうしようもない部分があるため、達成指標の設定を見直すべきである。
- ・教育は様々なメソッドやアプローチがあり、これが正しいという正解がないため、一つの方法を貫くより、状況、時代に応じた教育方法を研究していって欲しい。
- ・生涯学習課と公民館の事業の棲み分けが分かりにくい印象がある。
- ・達成指標をパーセンテージにしている事業で、内容によって指標が70%であったり、75%であったり統一感がない。一般的に、試験などは70点を及第点とする場合が多いので、可能であれば70%に統一した方が良いのではないか。
- ・市民が参加する事業について、実施することで達成度を出している事業と、参加者の満足度まで測って達成度を出している事業があるため、振り返りの意味でも満足度を測った方が良い。
- ・単純に達成数値だけを見ると、目標値を上回っている数事業について、100%と評価していたり、105%、110%と評価していたりまちまちである。異なる所管であっても統一感をもって評価すべきである。
- ・天候に左右される事業は参加者数を達成指標にすると、悪天候の場合、準備のために費やした職員の努力が報われないことになることから、達成指標の設定を見直した方が良いのではないか。
- ・評価シート中、各継続事業の取組年数に「中期」「長期」とあるが、その経過年数から現在どの程度進捗しているのか、という状況説明も表記したらどうか。

### 【総括】

- ・各所管の評価結果については、概ね妥当である。
- ・評価基準をしっかりとと考え、各事業間で統一感を持たせること。
- ・評価シートが分かりにくいため、第三者から見て分かりやすく表記すること。
- ・事業を実施することで達成率を出すのか、参加者の満足度まで測って達成率を出すのか整理されたい。
- ・職員が努力した部分を明記し、総合的な視点で評価すること。
- ・評価の仕方について、他市町の情報を入手し研究すること。

## 7 おわりに

今年度で9年目となる教育委員会の点検・評価ですが、毎年「飯能市教育振興基本計画」に基づき中・長期的な視点に立って、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるように各所管が目標を掲げ、事業展開を行っています。重点施策としては評価シートに表記されていない事業も「飯能市教育振興基本計画」に基づき、各所管で確実に進めているところです。

今回の2人の学識経験者からは、評価結果については概ね妥当であるが、評価基準をしっかりと考え方設定すること、表記を分かりやすく工夫すること、評価の仕方について他市町の情報を入手し研究することなどのご指摘を受けました。

今後も教育委員会では、学識経験者のご意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、新たに策定した「第2期飯能市教育振興基本計画（平成28～32年度）」に基づき、より効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

# 資料

## 平成27年度 教育行政の重点施策の評価結果

### 1. 教育総務課

No.	重点施策名	目標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備 H22からの継続目標 事業名 小学校耐震補強改修事業 中学校耐震補強改修事業	加治中学校の校舎や、飯能第一小学校、加治東小学校及び飯能第一中学校の屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また美杉台中学校多目的ホール及び名栗中学校武道場の天井落下防止工事を実施する。	各工事により学校運営に与える影響を最小限に抑える。工事前に学校と調整した工期を守る。	・加治中学校校舎 →12月中完成 ・飯能第一小学校屋内運動場 →2月中完成 ・加治東小学校屋内運動場 →12月中完成 ・飯能第一中学校屋内運動場 →2月中完成 ・美杉台中学校多目的ホール →10月中完成 ・名栗中学校武道場 →12月中完成	＜達成率90%＞ ・加治東小学校及び飯能第一中学校の屋内運動場、美杉台中学校多目的ホールの工事は当初の予定通り完成了。 ・加治中学校校舎及び名栗中学校武道場の工事は、現場での不測の状況等により工期を延長せざるを得なかつたが、無事完成了。 ・飯能第一小学校屋内運動場については、完了した設計を基に、発注準備を進め、3月末の工事契約に至った。なお工期は平成28年10月末の予定である。	＜B評価＞ 予定していた6件の工事のうち、5件が完了したので概ね期待どおり。  ＜今後の課題等＞ 耐震改修事業自体は、飯能第一小学校屋体の工事をもって終了したが、非構造部材の対策については、今後も継続して行っていく必要がある。
2	教育総務課 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備 H25からの継続目標 事業名 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業	学校施設の老朽化に伴い、緊急性や予算額を踏まえた計画的な修繕や改修工事を行う。 ・原市場小浄化槽沈殿槽修繕 ・小中学校危険遊具等撤去新設工事	緊急性のある修繕や改修工事を実施し、学校運営に支障が生じないようにする。工事・修繕前に学校と調整した工期を守る。	・原市場小浄化槽 →9月中完成 ・小中学校危険遊具 →D判定遊具等の全更新	＜達成率100%＞ ・小中学校危険遊具等撤去新設工事については、南高麗小遊具の撤去工事及び設置工事や、加治小学校砂場枠改修工事等を行つた。 ・その他の修繕・工事についても、緊急性や危険性などを考慮し、優先度が高いものから実施した。	＜A評価＞ 予定していた工事が完了したので期待どおり。  ＜今後の課題等＞ 施設の劣化や老朽化については、早期に修繕・改修を行い、重大事故につながらないように常にチェックを行う必要がある。
3	教育総務課 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 2 就学援助の推進 H24からの継続目標 事業名 奨学生貸付事業	奨学生返還金の未納が多くになっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を110万円減らす。	休日返還窓口を年3回開設する。また、臨宅微収を実施する。本人、連帯保証人に対し、電話や文書による勧奨を実施する。	未納額を前年度より減少させる。	＜達成率90%＞ ・未納になっている者に電話や文書による督促を行い、また、通知等に返答のない者については、連帯保証人に対し、督促を行うなど、奨学生及び連帯保証人に対し、継続的な働きかけを実施した。 ・休日返還窓口を3回開設し、返還に係る相談を受けることで、計画的な返還が可能となる奨学生が増えた。 ・3月末の未納額は20,073,664円で、前年同月に対して712,950円減少した。	＜B評価＞ 目標額には若干届かなかつたが、未納額が減少したため概ね期待どおり。  ＜今後の課題等＞ 奨学生が計画的に返還が出来るよう柔軟な対応が求められる。引き続き未納額を減らすための対策を強化する必要がある。
4	教育総務課 計画の推進 1点検・評価の実施 新規目標 事業名 点検・評価の実施	第2期教育振興基本計画を策定する。	第1期計画について、各所管の終点検及び総合評価を実施してまとめ、定例会等で報告を行う。また、次期計画策定に向けて会議等を計画的に実施し、外部の有識者委員会やパブリックコメントを経て3月議会までに公表(報告)できるようにする。	教育委員会2月定例会及び市議会3月定例会での報告。	＜達成率100%＞ 計画どおり進行し、基本計画が完成した。また、3月までに必要数製本し、教育委員に配付することができた。	＜A評価＞ 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。  ＜今後の課題等＞ 策定した計画を実効性のあるものにするために、どのように推進し、実行していくかが課題である。

## 2. 学校教育課・教育センター

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等	
1	学校教育課・教育センター 基本方針 事業名	I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます	学力の向上を目指して、1年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。	○学力学習状況調査を実施し学習状況を明らかにする。 ○課題を明確にした取組を実施する。 ○学力向上施策K4-KID研修会を開催する。 ○「地域に応じた学力向上推進事業」の研究発表を行い市内に取組を広める。	○市の課題が明らかになる。 ○各学校での取組により課題改善への変化が見られるようになる。 ○市内11校全職員へK4の視点による授業研究を実施する。 ○「地域に応じた学力向上推進事業」の研究発表に市内全校が参加し取組を広める。	<達成率90%> ○課題 (県学調) 小6:国語・算数、中1:国語・数学 (全学調) 小6:国語・算数、中3:国語B・数学B・理科 ○小6校中5校の全教員にK4の視点による授業研究を実施した。 ○飯能西中の研究発表会を10月30日に実施し、市内全校から教員が参加した。西中独自の取組を他校が実施した。	< B 評価 > 県学調、全学調では課題もあったが、K4に関わる授業研究、飯能西中学校の研究発表(K4に関する)を他校も参考にした学校もあり、概ね期待どおり。
		H22からの継続目標	学力向上プロジェクトの推進			<今後の課題等> ○一人一人の学力の「伸び」を確認し指導の改善につなげる必要がある。 ○飯能西中の成果を広げていく必要がある。	
		I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます	飯能を好きな児童の育成を目指して、飯能の良さを知り体験する活動を進める。	○学習林活用教育を全校で実施し、学習林フォーラムを開催する。 ○地域の人材を活かした教育が増加する。 ○地域の施設を活かした教育が増加する。	○学習林活用教育での体験活動を全校で実施する。 ○地域人材、施設を活かした新たな改善を全校が実施する。	<達成率90%> ○学習林活用教育での体験活動を全校で実施した。取組内容をバネル掲示にして西川材フェアで公開した。 ○地域人材を活かした活動が前年度と改善して実施した。 【地域人材の活用延べ人数】 小学校39%増・中学校43%増 ○地域の施設を活かした教育は例年通り実施した。	< B 評価 > 学習林活用教育に関して改善の課題もあるが、地域人材の活用も増加、学習林活用教育の公開・発表されたので概ね期待どおり。
2	学校教育課・教育センター 基本方針 事業名	1 生きる力を育む教育指導の充実				<今後の課題等> ○「北欧の雰囲気とムーミンの世界が体験できる施設」の開設と関連して、学習林活用教育を見直していく必要がある。	
		H23からの継続目標					
		郷土を愛する教育の推進					
3	学校教育課・教育センター 基本方針 事業名	I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます	いじめのない学校の実現を目指して、いじめ防止基本方針に基づいた取組を進める。	○飯能市いじめ問題対策連絡協議会を設置し会議を開催する。 ○飯能市いじめ問題専門委員会を設置し会議を開催する。 ○学校いじめ防止基本方針に基づく取組を全校で実施する。 ○各中学校区で「いじめゼロ子ども会議」を開催する。	○いじめ解消率100%	<達成率90%> ○いじめの認知件数(H27年度3学期末現在) 小学校28件・中学校12件 解消率: 小学校89% (解消25件 継続支援3件) 中学校67% (解消8件 継続支援4件)	< B 評価 > いじめ解消率は継続支援が残ったが、各会議の実施を滞りなく行なえたので概ね期待どおり。
		1 生きる力を育む教育指導の充実				<今後の課題等> ○いじめ防止基本方針にそって、継続的にいじめ防止に取り組んでいく必要がある。	
		新規目標					
4	学校教育課・教育センター 基本方針 事業名	いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進					
		I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます	不登校児童生徒の減少を目指して、教育相談・不登校対策を進める。	○スクールソーシャルワーカー、指導員を学校に派遣し連携を強化する。 ○スーパーバイザーの所内研修を実施し、センター職員の資質を向上させる。 ○小中連携事業を進め中1ギャップを解消する。	○不登校児童生徒の在籍率の減少(前年比)	<達成率90%> ○不登校児童生徒在籍率(H27年度3学期末現在) 小学校: 13人・0.36% (0.08%減) 中学校: 51人・2.77% (1.24%増) 【昨年度】 小16人 (0.44%) 中29人 (1.53%)	< B 評価 > 不登校児童・生徒は全体として増加したが、SSW指導員の派遣、スーパーバイザー研修を実施したので、概ね期待どおり。
		1 生きる力を育む教育指導の充実				<今後の課題等>	
4	H25からの継続目標	不登校の減少に向けて取組の推進				<今後の課題等> ○関連機関と連携した不登校対策を継続していく必要がある。	

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなつか)	評価/今後の課題等
5	学校教育課・教育センター	<p>I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます</p> <p>1生きる力を育む教育指導の充実</p> <p>H22からの継続目標</p> <p>体力向上の推進</p>	<p>体力の向上を目指して、1年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進めます。</p>	<p>○新体力テストを実施し、各校の成果と課題を分析する。</p> <p>○体力向上推進委員会を開催し市の成果と課題を分析する。</p> <p>○課題への対応策を立て、各校で年間の取組をする。</p> <p>○課題への対応策を立て、市で年間の取組をする。</p>	<p>○新体力テストの上位3ランク(A・B・C)の児童生徒の割合が平成26年度の数値より向上する。</p> <p>○各校の課題への取組により体力向上の変化が見られようになる。</p>	<p>○新体力テスト上位%は前年度より微減となつたが、各校課題解決に向け90%超の学校が増え、「ボール投げ」の向上が見られたので、概ね期待どおり。</p> <p>○今後の課題等&gt;</p> <p>市全体の課題である「上体おこし」への計画的な取り組みが必要がある。</p>
	基本方針					
	事業名					
6	学校教育課・教育センター	<p>I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます</p> <p>2幼稚園・学校経営の充実</p> <p>H25からの継続目標</p> <p>中学校区における9年間で育てる「子ども像」を明確化した取組の推進</p>	<p>「連携型」小中一貫教育を目指して、教育課程に位置付けた取組を実施する。</p>	<p>○外国語活動における小中連携を教育課程に位置付けて吾野中地区で実施する。</p> <p>○小中連携教育推進委員会を中心とした連携を教育課程に位置付けて実施する。</p> <p>○担当指導主事による連携指導を全校で実施する。</p>	<p>○全校で教育課程に位置付けた連携が実施される。</p>	<p>○達成率100%&gt;</p> <p>○全校で教育課程に位置付けた連携が実施された。</p> <p>○今後の課題等&gt;</p> <p>○これまでの「連携」を活かして、飯能市としての小中一貫教育の形を明らかにして取り組む必要がある。</p>
	基本方針					
	事業名					
7	学校教育課・教育センター	<p>I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます</p> <p>2幼稚園・学校経営の充実</p> <p>H25からの継続目標</p> <p>「複式学級」の授業改善</p>	<p>複式学級の授業の充実を目指して、「わたりの授業」の実践研究を実施する。</p>	<p>○複式学級設置校での授業研究を実施する。</p> <p>○複式教育研修会を小学校全校を対象に開催し、理解を深める。</p> <p>○学校訪問を通じたわたりの授業指導を実施する。</p>	<p>○複式学級設置校での授業研究を全校実施する。</p> <p>○複式未設置校の教員の「わたりの授業」への理解が向上する。</p>	<p>○達成率100%&gt;</p> <p>○東吾野小学校と名栗小学校で複式学級における市内公開の授業研究会が実施された。吾野小学校と西川小学校で校内研修として複式授業が実施された。</p> <p>○公開授業に、市内全小学校から教員が参加し、わたりの授業への理解が広がった。</p> <p>○今後の課題等&gt;</p> <p>○完全複式になる過渡期であり、継続して「わたりの授業」のあり方を研究していく必要がある。</p>
	基本方針					
	事業名					

### 3. 生涯学習課

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	生涯学習課 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H25からの継続目標	大学や企業との連携により地域の教育力を活かし、子どもの学ぶ力や生きる力を伸ばすため、子ども大学はんのう(第2期)を開催する。	・学生募集は、学校の協力をいただきちらし等を配布後、学校とおいて募集を行う。 ・市の広報、ホームページ等でPRを行う。 ・子ども大学推進会議等を通じて市町の実施状況を把握し、子ども大学はんのうに反映していく。	・定員50人を確保し、子ども大学はんのうを開催する。(7~10月) ・第2期開催後、第3期の概要案を検討しまとめる。 ・他市町と情報交換を実施し、情報提供や協力関係を築いていく。	<達成率100%> ・第2期全日程を終了し、47人全員に修了書を交付した。 ・アンケートでは、普段の授業では学べないことが学べた、他校の生徒と交流できたなどの評価があり、多くの子供から満足との結果を得た。 ・第3期の開催内容についても検討しており、平成28年度においてもこの成果を活かし、実施していく。	< A 評価> 子どもたちに満足してもらえる結果で終了でき、目標を達成したので期待どおり。  <今後の課題等> ・講義開始直前や開始後に登校する子供がいるため、規則を守ることについても併せて指導していく必要がある。 ・平成28年度で県からの補助金が終了したため、事業を継続していくための環境整備を行っていく。
	事業名 子ども大学はんのう(第2期)の開催					
	生涯学習課 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4学習成果の還元 H22からの継続目標					
2	生涯学習課 H22からの継続目標	小学生から大人までがステージ発表等の出演者及び見学者として来場者し、世代間交流が図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	・魅力ある講演会やワークショップの検討を実施する。 ・学校ステージ発表等の出演協力を依頼する。 ・学生ボランティアの協力を依頼する。 ・地域フェスと合同開催の場合、駿河台大学と連絡を密にとり、講演会及びステージ発表者の調整を行う。	・アンケート等により来場者の満足度を70%以上とする。	<達成率100%> ・平成27年度は実行委員会を実行委員と協力員に分けて会議の出席人を絞り、実行委員を主体としてフェスティバルを実施した。 ・実行委員からの提案を積極的に採用し、多彩な催しを行った。 ・生涯学習フェスティバルの来場者は、約950名で昨年度よりも増加した。 ・アンケートについては集計中であるが、多くの人々から満足との回答をいただいている。	< A 評価> 来場者も増加し、アンケートでも満足との回答を多くいただけたので期待どおり。  <今後の課題等> ・前年度よりも周知が進み、来場者は増加した。引き続き魅力あるフェスティバルを開催していく。 ・実行委員のやる気を活かしながら、役割分担を分かりやすくし、スタッフも満足できるフェスティバルを開催していく。
	事業名 生涯学習フェスティバルの実施					
	生涯学習課 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3地域学習の充実 新規目標	市民が文化財に親しみきっかけとなるような講座の開設や文化財めぐりを実施する。 市民が文化財への関心を高めていただきため、HPの充実を図る。	過去の実施結果を再検討し、内容やPR方法などを見直す。 文化財めぐりは、移動方法や所要時間等についても再検討する。 過去の参加者の意見を踏まえ、より関心を持っているものや興味がわく内容にする。	講座やめぐりの参加者数を募集人数に達するようにする。 各参加者にアンケート調査を行い、実施内容等について高評価をいただけたるようする。	<達成率100%> ・夏休み子ども文化教室については中間報告の通り。 ・文化財めぐりと文化財講座の内容を見直し、それまで別個に行っていた両事業を一体化して実施した。また、テーマも「高麗郡建郡」というタイマリーな内容とした。その結果、定員30名に対し、49名の申し込みがあつた。 ・参加者にアンケートを取ったところ、「満足」「まあ満足」合わせて97.1%と高評価を得た。	< A 評価> 募集人数以上の応募があり、アンケート結果でも高評価をいただけたので期待どおり。  <今後の課題等> ・普及事業については今後も見直しを行い、より良い事業となるよう改善に努める。 ・今回の発掘体験はとても好評であったが、体験に適した発掘現場が必ずしもあるとは限らず期待に応えられない可能性もある。
3	生涯学習課 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3地域学習の充実 H22年度からの目標	年度当初の関連部署とのヒアリングに基づき、年間の調査計画を作成し、その計画に沿って発掘調査を実施する。 平成23年度発掘調査を実施した加能里遺跡の室内調査は、報告書刊行までの計画で、可能な限り前倒して事業を進める。 民間や個人等の開発についても、臨機応変に対応する。	・公共事業関連の発掘調査及び室内調査は、今年度事業量が非常に多いため、関連部署と綿密な調整を行い、各課の状況変化に対応できるように四半期ごとに計画を見直し変更しながら実施する。 ・民間や個人等の調査については、緊急に対応する必要があるため、公共事業関連部署と調整を取りながら、組織としての対応を実践する。 ・室内調査については、年度当初の計画に沿って、計画的に推進する。	・公共事業に伴う加能里遺跡、別所平遺跡の発掘調査については、関係課の計画に沿って調査を実施し、工事等への影響を最小限とする。 ・室内調査については、報告書刊行に向け年度当初の計画どおりに実施する。 ・報告書『加能里遺跡第42・43次調査』については、3月までに刊行する。 ・民間や個人の開発に伴う調査については、調査待ちの期間が長期にわたらないように対応する。	<達成率100%> ・公共事業関連の発掘調査は担当課と調整し、年度内に終了すべき範囲は終えることができた。 ・民間・個人開発を原因とする試掘・発掘調査は、円滑に実施することができた。特に、メッツアに伴う宮沢湖周辺の調査は想定外であり、今後に少なからぬ影響を与えるものと思われる。 ・報告書『加能里遺跡第42・43次調査』を3月に刊行した。	< A 評価> 年度内に終了すべき範囲は終えることができたので期待どおり。  <今後の課題等> ・複数の発掘調査にも対応できる調査体制の整備。 ・発掘調査の多寡に影響されない室内調査推進体制の整備。 ・関係各課とのさらなる連携と情報共有。
	事業名 埋蔵文化財調査の推進事業					
	生涯学習課 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3地域学習の充実 H22年度からの目標					

#### 4. 体育課

No.	重点施策名	目標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでますのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実 H22からの継続目標 事業名 ウオーキングを基にした健康体力づくりの推進	公民館を拠点としたウオーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	・公民館、健康政策課、体育協会等と連携し、スゴ足イベント等を通して市民参加の拡大を目指す。 ・新規事業『ウオーキング道場』を開催し、ウオーキングを始める場を提供する。 ・健康な生活を送るための体力の維持と向上を目的に『バランスDE若さアップ』を開催する。	・講座定員の90%以上の参加者 ・エイジング・オーキング・ペーシックコース ・バランスDE若さアップ ・講座定員の60%以上の参加者 ・ウオーキング道場	<達成率100%> ・バランスDE若さアップ講座については定員を超える応募があり、出来る範囲で定数以上の参加者により実施することができた。 ・エイジング・オーキング・ペーシックコースについては、定員の80%の応募状況であるが、原市場地区行政センターでは123%の申込みがあり、ウオーキングに対する意識の高揚が見られ始めている。 ・ウオーキング道場は、55%の応募状況であるが、少ししづつウオーキングを始める方が出てきていることは、ウオーキング人口が増えることが期待できる。	< A 評価> 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。  <今後の課題等> ・エクササイズウオーキングを中心的に計画的な健康体力づくり事業の展開が必要である。 ・市民参加の拡大を目指すため、公民館、健康づくり推進室、体育協会との連携が更に必要である。
2	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実 H22からの継続目標 事業名 第13回飯能新緑ツーダーマーチ	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツーダーマーチを実施する。また、第13回大会において、"参加者2万人"を達成する。	・"参加者2万人"の実現に向けて広く大会周知を進める。 ・実行委員会及び各諸会議を開催し、準備状況の確認や運営方法等の確認を行なう。 ・安全で効率的な大会運営を検討する。	・"参加者2万人"の達成 ・関係会議の開催 ・実行委員会 2回 ・統括部会 2回 ・担当者会議 適時 ・大会運営上の事故"0"の達成	<達成率110%> ・コース担当を中心としたコース下見を実施し、第14回大会のコースを決定した。 ・2月に統括部会、実行委員会を開催し、大会計画が決定した。 ・3月22日から事前申込の募集を開始した。 ・新たな参加者の確保を目指した事業(ヤマノスマメ、近隣自治体ご当地グルメ等)を第13回大会同様に開催することを決定した。	< S 評価> 目標値を超える成果があり、期待以上。  <今後の課題等> ・主催団体、後援団体、協力団体との連絡調整を行い、準備を進めていくことが重要である。 ・新たな参加者の確保に向けた実行委員会を挙げての募集活動を展開していく必要がある。
3	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実 H22からの継続目標 事業名 第14回奥むさし駅伝競走大会	安全で競技性の高い『第14回奥むさし駅伝競走大会』を実施する。	・参加チーム上限220チームの達成に向けた大会周知を進める。 ・実行委員会及び各担当会議を開催し、準備状況の確認や運営方法等の確認を行う。 ・警察や関係機関と連携し、安全で効率的な大会運営を検討する。	・参加チーム220チームの達成 ・関係会議の開催 ・実行委員会 2回 ・諸会議 適時 ・実業団、大学チームの増加 10チーム ・女子チームの参加 (実業団、大学など) ・大会運営上の事故"0"の達成	<達成率100%> ・出場チームの上限220チームに対し、255チームの応募があり、競技規程に基づき選考した。 ・女子チームの参加があった。 ・前回大会の反省を踏まえ、各都会でスムーズな大会運営の検討を行い、実施した。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。	< A 評価> 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。  <今後の課題等> ・申込チームの増加に伴い、参加チームの選考を基準に則り進めていくことが重要になる。 ・14回大会の反省点を整理し、運営方法の改善を進め、安全で競技性の高い大会の開催に向けて準備を進めることが重要である。 ・女子の部や大学の部の設置に向けた協議を早い段階から実施していく。
4	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1 健康体力づくりの充実 新規目標 事業名 第58回奥武蔵中学校駅伝競走大会	安全で競技性の高い『第58回奥武蔵中学校駅伝競走大会』を実施する。	・政策実現課等との協議により開催会場を決定する。 ・実行委員会を設置し、準備、運営を行う。 ・安全で効率的な大会運営を検討する。	・開催会場の決定 ・参加チーム数:前年度超 ・実行委員会の設置:6月頃 ・関係会議の開催 ・大会運営上の事故"0"の達成	<達成率100%> ・参加チーム 男子の部 63チーム ・女子の部 53チーム ・監督会議を開催し、会場変更に伴う注意点の確認、課題に対する協議を行い、大会当日はスムーズな大会運営ができた。 ・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。	< A 評価> 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。  <今後の課題等> ・走路が狭い部分、側溝等の危険箇所もあるため、より安全な大会の開催に向け、関係部署と協議を進めていくことが重要である。 ・今大会の反省点を活かした大会の開催に向けた準備が大切である。

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
5	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1健康体力づくりの充実 H 22からの継続目標 事業名 ホッケーのまちづくりの推進	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。	・ホッケーのまちづくり推進に係る体制の整備を行う。 ・普及事業と競技環境の整備を行う。 ・ホッケー競技のPR活動を行う。	・体育課専門指導員の任用 ・全中学校で体育授業のホッケー必修化 ・巡回ホッケー教室の開催 ・小・中学生及び高校生に係る利用料金の免除 ・ホームページ、市民活動センター等を活用したPR活動 ・懇親会及び中学校部会の開催 ・スポーツ少年団を立ち上げ、活動支援を行う。	＜達成率100%＞ ・巡回ホッケー教室 ・小学校: 12校 中学校: 8校 ・中学生放課後: 1ワープ ・全8中学校で先生との事前調整を行い、中学1年生は必修授業として授業を行った。 ・市HPや図書館のホッケーコーナーを利用し、ホッケーのまち飯能をPRした。 ・平成28年度開催の全国スポーツ少年団交流大会の開催に向けて、準備を始めた。	＜A評価＞ 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。  ＜今後の課題等＞ ・全中学校でのホッケー授業について、引き続き学校関係者と調整を進める。 ・「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、競技団体、学校関係者、教育委員会それぞれの役割に応じた主体的な取り組みを促していく必要がある。 ・平成28年度開催の全国スポーツ少年団交流大会の開催に向けて、早い時期に実行委員会を組織し、準備を進めていく。
6	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 1健康体力づくりの充実 新規目標 事業名 第70回国民体育大会関東ブロック大会ホッケー競技の開催	第70回国民体育大会関東ブロック大会ホッケー競技を開催するとともに、ホッケーのまち飯能を広く周知する機会とする。	・実行委員会を設置し、準備、運営を行う。 ・安全で効率的な大会運営を検討する。	・実行委員会の設置 ・関係会議の開催 ・大会の開催 8月21日(金)～23日(日) 阿須ホッケー場 美杉台公園多目的グラウンド 駿河台大学ホッケー場 ・安全で効率的な大会運営を検討する。 ・大会運営上の事故"0"の達成	＜達成率100%＞ ・第70回国民体育大会関東ブロック大会ホッケー競技の終了に伴い、飯能市実行委員会を解散した。 ・埼玉県実行委員会の解散に伴い、第70回国民体育大会関東ブロック大会が終了した。	＜A評価＞ 計画どおり進行し、目標を達成したので期待どおり。  ＜今後の課題等＞ ・全国大会の開催に向けては、阿須ホッケー場と美杉台多目的グラウンドの人工芝の張り替えが必要な時期になってきている。
7	体育課 V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます 2スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上 H 22からの継続目標 事業名 都市公園運動施設の指定管理	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。	・円滑な管理運営を行うため、指定管理者である飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体と連絡調整を行う。 ・円滑な管理運営を行うため、道路公園課と連絡調整を行う。	・指定管理者との連絡調整会議の開催 ・道路公園課との連絡調整会議の開催	＜達成率100%＞ ・指定管理者と必要に応じて協議・検討を行った。 ・指定管理者と施設の安全確認(危険箇所の確認)を行った。	＜A評価＞ 健全な施設管理運営ができる、期待どおり。  ＜今後の課題等＞ ・都市公園運動施設において、利用者ニーズを捉えた自主事業を進める。 ・都市公園を含めた業務範囲となる中で、一貫的な管理運営を進めていく必要がある。 ・阿須ホッケー場と美杉台多目的グラウンドの人工芝の張り替えについて検討していく必要がある。

## 5. 図書館

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	図書館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H22からの継続目標 事業名 資料・情報提供の充実	利用者の調査・研究活動を支援するため、各種資料の充実を図るとともに図書館WEBサイトを活用した情報発信や青梅市立図書館や駿河台大学と連携して図書館情報を提供する。	・図書館の蔵書を充実する。 ・図書館WEBサイトから情報を発信する。 ・駿河台大学メディアセンターと市立図書館内に設置したそれらの紹介コーナーを活用し、図書館の情報を発信する。 ・青梅市立図書館との相互利用を充実させる。 ・ダイアブランの3市(所沢市、狭山市、入間市)等、相互利用協定を締結している図書館と情報交換し、サービスに反映する。	・年間受入目標冊数を8,000冊し、蔵書の充実を図る。 ・図書館WEBサイトを年間50回以上更新する。 ・駿河台大学メディアセンターに設置した市立図書館紹介コーナーから市立図書館の最新の情報を年6回以上発信する。 ・相互利用協定を締結している図書館の情報を年6回職員間で提供する。 ・飯能市、青梅市両市民の相互利用者数の増加。 ・情報提供の増加により図書館の周知が進む。	<達成率100%> ・年間受入冊数(雑誌を含む)は約8,900冊であった。 ・図書館WEBサイトを56回更新した。 ・駿河台大学メディアセンターに設置した市立図書館紹介コーナーから市立図書館の最新の情報を年6回発信した。 ・青梅市図書館との相互利用担当者会を年3回開催した。 ・ダイアブラン等ご利用協定締結図書館の情報提供を年6回行った。	<A評価> 利用者の増加と周知が図られ、全ての指標が達成できたので期待どおり。  <今後の課題等> WEBサイトの更新は目標を達成しており、さらにWEBサイトを活用した情報発信の実施を行う。 図書館利用促進のため、メディアセンターも含めた駿河台大学との連携を図ることが望まれる。
2	図書館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H24からの継続目標 事業名 郷土館等との連携による調査活動の支援	利用者の調査・研究活動を支援するため、郷土館をはじめ他課と連携し、調査等に役立つ図書情報を提供する。	・ICTを活用し郷土館等と連携した事業を展開する。 ・他課と連携した資料展示を開催する。	・関係施設内にカーリルタッチのタグを設置する。 ・他課と連携した資料展示を年3回開催する。 ・他課との連携により図書館利用促進につながり、図書情報提供機会が増加する。	<達成率100%> ・駿河台大学メディアセンターの市立図書館コーナーに市立図書館、こども図書館を紹介するタグを設置した。 ・郷土館、保健センター等他課との連携した資料展示を、11回開催した。	<A評価> 市政の情報発信と各所との連携が図られたので期待どおり。  <今後の課題等> 郷土館との連携事業は順調に進んでいる。他課との連携事業ができ、市政の情報発信と図書館利用促進につながった。 今後も連携を進めたい。 カーリルタッチタグの設置は、より多くの関連機関への設置を進めたい。
3	図書館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H24からの継続目標 事業名 飯能に関するニュースの収集	飯能に関するニュースを利用者に提供するため、ニュースを収集・整理して公開する。	・飯能に関するニュースをスクランプを行い、記事見出しをデータ入力する。	・飯能関連新聞見出しデータを図書館WEBサイトで公開する。 ・飯能に関するニュースを利用者が入手しやすくなる。	<達成率100%> ・文化新聞記事見出しデータを1,500件入力し公開した。また、平成20年度～平成26年度までの飯能市関連記事掲載状況リストを公開した。	<A評価> 新聞の見出しや関連記事を入力・公開したので期待どおり。  <今後の課題等> 課題であった「文化新聞」以外の新聞について掲載状況リストを作成できた。 今後も継続して作成し、活用を図るために周知したい。
4	図書館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H24からの継続目標 事業名 学校図書室等との連携	幼児・児童・生徒に図書とふれあう機会を多くもつてもらうために、「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館・保育所など連携して読書活動を推進する。	・幼児・児童・生徒に図書館の使い方を知つもらうため、図書館見学や出前講座などを実施する。 ・調べ学習のための団体貸出数を年間20回以上とする。 ・市立図書館における飯能高校図書室との交換展示資料の貸出数を、1冊1回以上とする。 ・幼児・児童・生徒の読書活動の推進につながる。	・図書館見学10回体以上実施、出前講座5回体以上実施を目標とする。 ・調べ学習のための団体貸出数を年間20回以上とする。 ・市立図書館における飯能高校図書室との交換展示資料の貸出数を、1冊1回以上とする。 ・幼児・児童・生徒の読書活動の推進につながる。	<達成率105%> ・学校等の図書館見学を12回(保育所・幼稚園4回、小学校11回、中学校1回)受入れた。出前講座を15回(小学校6回、中学校1回、保育所6回)行った。また、ムーミンに関する学校、保育所向け出前講座を5回行った。 ・調べ学習のための団体貸出数を年間61回(小学校55回、中学校6回)行った。 ・市立図書館における飯能高校図書室との交換展示を10回開催し、展示資料の貸出数は、1冊1回以上であった。	<S評価> 各達成指標において、予定期間の結果となったので期待を上回る。  <今後の課題等> 図書館見学、出前講座の回数や団体貸出数は目標値を上回り、高校との連携も順調であった。今後も学校、幼稚園、保育所等との連携を深めることで、読書活動推進につながるため実施したい。
5	図書館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H24からの継続目標 事業名 図書館ボランティアの支援	ボランティア組織の安定した運営を図るため、追加のボランティアを募集するとともに、組織の内規を定めて自主的な活動ができるよう支援する。	・新たに登録希望者を募集する。 ・組織の内規について検討する。 ・図書館の様々な事業の運営に参加してもらう。	・ボランティア活動の説明会を実施して新たな登録希望者を受け付ける。 ・組織の内規を定め、団体名を決めて組織化を図る。 ・映画会や各種講座など図書館行事の企画運営のほか、図書館の美化活動にも参加してもらう。 ・市民との協同による図書館運営が進む。	<達成率100%> ・「ボランティア活動要綱」を決定した。 ・ボランティアの名称を決定した。 ・映画会(12回)、おはなし会(24回)、図書館のつどい等の図書館行事で活動した。	<A評価> 新たな加入者も加わり、活動要綱を策定し、組織としての運営が安定したので期待どおり。  <今後の課題等> 「ボランティア活動要項」等が決定し、組織として安定してきた。職員とのコミュニケーションを促進し、協働して図書館事業を行うことが課題である。

## 6. 公民館

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでますのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	公民館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	多様な学習機会の充実を目指し、地域ニーズや地域課題を捉えて、地域資源などを活用した講座を開催する。	公民館講座への要望や地域課題を積極的に捉え、地域の特性を生かした講座を開催し、市民満足度の向上と地域課題の解決につなげる。	市民の要望や地域課題を捉えた講座を1講座以上開催する。また、人口増につながる事業を開催する。	<達成率100%> 職後70年企画事業を各館において実施とともに、地域課題を捉え健康や介護・医療、振り込め詐欺被害防止などに関する事業を各館で実施した。また、全館連携事業の「出逢いのスマイル」は、定員(男女各20名)の申込みがあり、豊かな自然を生かした3回のアウトドア体験をおとしで参加者相互の出会いに繋げることができた。	< A 評価> 予定していた事業を実施できたので期待どおり。
	事業名	学級講座の充実				<今後の課題等> 少子高齢化や人口減少などの地域課題に対応した事業を関係機関・地域団体等と連携して実施し、地域課題の解決や地域の活性化に繋げる。また、未婚の男女を対象とした事業を継続し、地域への若者の定着に繋げる。
	公民館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	生涯学習の推進のため、地域ニーズに合った情報発信に取り組む。	公民館(地区行政センター)だよりやホームページ、報道機関への情報提供などにより、積極的に情報を発信する。	公民館(地区行政センター)だよりを月1回以上発行する。また、ホームページの活用、報道機関への情報提供、公民館や学校への事業風景写真の掲示などによって、「見える化」を推進する。	<達成率100%> 公民館(地区行政センターだより)を月1回発行した。ホームページの掲載内容を充実し、公民館事業や地域の魅力を継続的に発信した。また、飯能アプリを積極的に活用し、講座や地域イベント情報等の周知を図った。報道機関への情報提供や学校との連携による事業風景写真等の掲示を各館で実施し「見える化」を推進した。フェイスブックは、担当者部会が先進地を視察し、導入の効果や課題を整理した。	< A 評価> 予定どおり実施できたので期待どおり。
2	公民館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	学習相談体制の充実				<今後の課題等> 公民館(地区行政センター)だより、ホームページ、飯能アプリのほか、フェイスブックを活用し、情報発信をさらに充実する。学校との連携を深め、公民館事業風景写真等と児童・生徒の作品の交換掲示等をさらに推進する。
	事業名	学校との連携	学校や地域団体などとの連携を深め、協働による事業を開催する。また、トレーニングキャンプを全館で実施する。	学校や各種団体との連携を密にし、関係機関との連携事業を計画する。	<達成率95%> 自治会、学校、児童館、保育所、高齢者団体等と連携し、地域の特性を生かし世代間交流事業や防犯・防災講座を各館(各地域)で実施した。トレーニングキャンプは、予定した6館のうち5館で実施したほか、新規で加治公民館が企画したが、小学生を対象とした他の地域事業と重なるなどしたため次年度から実施することとした。	< B 評価> トレーニングキャンプは、予定した6館のうち5館で実施したほか、新規で加治公民館が企画したが、小学生を対象とした他の地域事業と重なるなどしたため次年度から実施することとした。
	公民館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	学校との連携				<今後の課題等> 安心・安全な地域社会の実現や青少年の健全育成を図るために、防犯・防災に関する講座や家庭教育学級を関係機関・関係団体等と連携して実施する。トレーニングキャンプを実施する。
3	公民館 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	健康増進と配本所の充実	健康で教養豊かな市民のまちをつくるため、健康増進に関する講座を開催するほか、配本所の充実を図る。	生涯を通して健康で充実した生活が望まれていることから、関係機関・関係団体と連携し、野菜を活用した食育講座やウォーキング講座を開催する。また、図書館との連携により配本所の充実を図る。	<達成率100%> 各館(各地域)において地域野菜グルメ調理講座を実施したほか、関係団体と連携し「野菜いっぱい創作料理教室」を開催するなど、野菜を活用した講座を開催した。また、複数の公民館が連携し公共交通機関を利用したウォーキング事業を実施するなど、ウォーキング人口の拡大を図るとともに、地域間交流も推進した。配本所の充実に関しては、各館の現状を考えながら、今後図書館と連携して検討していく。	< A 評価> 予定どおり実施できたので期待どおり。
	事業名					<今後の課題等> ウォーキング、体操など運動の習慣化と野菜摂取量の増加に繋がる事業を関係機関・関係団体と連携して実施する。

## 7.郷土館

No.	重 点 施 策 名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等	
	郷土館	歴史を意識したまちづくりをめざし、より多くの市民に鉄道が引いた意義と今後のまちの発展のあり方を考えてもらうため、特別展「武蔵野鉄道開通100周年記念（仮称）」を開催し、その充実を図る。	・本市に対し武蔵野鉄道（西武鉄道）がこれまで果たしてきた役割を再認識とともに、鉄道とともに歩む市の将来像を展望した内容の特別展とする。 ・西武鉄道㈱をはじめ、市内鉄道愛好家グループなど、多くの市民、地元商店街などを巻き込んでイベントを同時に実施していく。	・特別展の1日平均入館者数105人以上であること。 ・入館者のアンケートによる満足度75%以上であること。 ・特別展開催までに関連するイベントを数回企画する。	<達成率120%>	<S評価>	
1	基本方針 3 地域学習の充実 H22からの継続目標 事業名 特別展の充実				・特別展の1日平均入館者数1609人、満足度89.4%と、目標を大きく上回った。 ・飯能駅や西武鉄道（株）などと連携して飯能駅構内で記念セレモニーや写真展等の関連事業を5回開催した。この功績で西武鉄道（株）より感謝状をいただいた。 ・入館者数はここ数年の特別展では最高であり、展示図録も期間中に売り切れるほど好評だった。多くの方に鉄道開設までの努力や鉄道開通に伴う飯能のまちの発展のあり方を知つていただけた。	入館者数、満足度とも目標を大きく上回り、関連事業を多数実施できたので期待を上回る。 <今後の課題等> ・今後とも、地域の歴史の特性や魅力を積極的に発進できるような内容の特別展開催に努める。	
2	基本方針 3 地域学習の充実 H22からの継続目標 事業名 広報活動の充実	郷土館	地域の特徴や魅力を多くの人に知ってもらうことを目的に、効果的な情報発信をすすめるため、当館の展示、催し物等の広報活動を見直し、その充実を図る。	・今年度の収蔵品展、特別展、夏休み子ども歴史教室などの広報活動（ポスター、チラシ、ホームページなどを精查し、効果・問題点を把握する。 ・新たなメディアの開拓も含め、効果的な広報活動を計画して実践する。 ・その結果の効果測定を行い、課題の抽出、改善策の検討を行う。	・1年間通じて検討、実施した広報活動の効果測定を行い、より有効な広報手段レポートを作成、提示する。	<達成率100%>	<A評価>
3	基本方針 3 地域学習の充実 H22からの継続目標 事業名 資料整理の推進	郷土館	地域の魅力や特性を究明することを目的とし、収蔵資料の価値を高め、地域の情報を引き出し、それを多くの人が利用できるようにするため、収蔵資料の整理を推進する。	・古文書、民具、古写真の整理をすすめ、資料カード作成と台帳登録を行う。 ・未着手であった考古資料の整理方法を検討する。 ・原市場地区の古文書目録を刊行する。	・収蔵資料の整理をすすめ、民具50点以上、古文書300点以上、古写真50点以上のカードを作成し台帳に登録する。 ・考古資料の整理方法を定め、カード・目録の書式を作成する。 ・原市場地区に所在し当館に寄贈、寄託されている古文書を「収蔵資料目録7(文書目録その2)」として刊行する。	<達成率90%>	<B評価>
4	基本方針 3 地域学習の充実 新規目標 事業名 高麗郡建郡1300年記念にむけての準備、調整	郷土館	歴史を意識したまちづくりを目指し、平成28年度の高麗郡建郡1300年の意義を知つてもらうため、当館での特別展の準備を進めるとともに、多くの市民に関心をもつてもらうように働きかける。	当市の生涯学習課や日高市等の協力を得て、特別展の資料調査をすすめる。 さらに、日高市や高麗郡建郡1300年記念事業委員会などと連携し、飯能市民に対して高麗郡建郡の意義を伝える講座等を開催する。	・3月末までに、特別展で展示可能な資料リストを作成する。 ・飯能市民に対して高麗郡建郡の意義を伝える講座等を開催する。	<達成率100%>	<A評価>